

[建設農政] 課 経 営 計 画 書 (総 括 表)

■事務事業の総括

| No. | 事務事業名 | 様式 区分 | H25 年度計画額 (単位 : 千円) | | H25 年度必要人工 | |
|-----|-------------|----------|---------------------|--------|------------|------|
| | | | 計画額 | 内特定財源 | 職 員 | 臨時職員 |
| 1 | 農業委員会事業 | B | 5,977 | 2,663 | 2.0 | 0.5 |
| 2 | 農業振興事業 | A | 20,669 | 1,553 | 2.0 | 0 |
| 3 | 農地流動化事業 | B | 615 | 0 | 1.0 | 0 |
| 4 | 土地改良事業 | B | 49,423 | 17,331 | 0.50 | 0 |
| 5 | 道路維持管理事業 | A | 109,140 | 17,682 | 1.50 | 1.5 |
| 6 | 道路整備事業 | B | 119,214 | 0 | 0.75 | 0 |
| 7 | 橋りょう維持管理事業 | B | 500 | 0 | 0.25 | 0 |
| 8 | 橋りょう整備事業 | A | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 9 | 河川排水路維持管理事業 | B | 8,992 | 0 | 0.20 | 0 |
| 10 | 河川排水路整備事業 | B | 10,500 | 0 | 0.30 | 0 |
| 11 | 調整池維持管理事業 | B | 3,803 | 1,380 | 0.25 | 0 |
| 12 | 調整池整備事業 | A | 19,751 | 6,583 | 0.25 | 0 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 合 計 | | | 348,584 | 47,192 | 9.0 | 2.0 |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|------------------------|---|-----|------------------------|
| 所属名 | 建設部建設農政課 | No. | 01 |
| 事業名 | 農業委員会事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (2) | 環境と共生した産業の発展 |
| 目的 | 地域環境の質的な向上につながる農地の保全を目指すため、農地転用の適正審査、耕作放棄地の縮小など、健全な委員会運営に努める。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会総会運営 ・ 農地法関係許可申請 ・ 農業者年金関係 ・ 納税猶予関係事務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地情報管理システム ・ 農家基本台帳の配布、回収 ・ 農業委員選挙人名簿の配布、回収 ・ 遊休農地、不法転用パトロール | | |
| 現在における 経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農地法関係許可申請では、不正防止のため委員認証を廃止し、現地確認方式を平成23年8月から導入している。 ・ 総会資料の取扱い(個人情報保護)について、各委員にファイルを渡し、任期終了後に回収予定である。 ・ 2年目になる遊休農地、不法転用パトロール後の指導、農地相談を進める必要がある。 | | |
| 平成24年度の 目標又は 改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業委員会活動の充実を図る必要がある。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 耕作放棄地解消のための農地相談 2) 不法転用の是正指導 3) 3条申請後の農地営農確認 4) 活動報告書の記載内容の充実(活動の充実) | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作 業 内 容 | |
|------|-------------------|--------------------------------------|
| 4 | 24年度委員会活動計画の策定 | 公表(HP等) |
| 6 | 農業者年金現況届の回収 | 経営移譲年金受給者のチェック |
| 8 | 農家基本台帳の配布、回収 | 農事組合組織に配布を依頼 |
| 9～11 | 農地パトロール | 委員2名及び事務局2名で担当区域を巡回 |
| 9 | 農業委員研修 | 愛知県主催 |
| 3 | 24年度委員会活動点検・評価 | 公表(HP等) |
| 随時 | 農地法関係許可申請 農地相談 | 委員、事務局で事前現地調査を実施 農地パトロール後の個別相談を実施 |

□3年間の目標

| | | | | | | |
|---------|---|-------|------------|--------------|------------|------------|
| 目標 | ・農地法関係許可申請時の現地調査、農地パトロール等農業委員が委員会運営に積極的に関わ る環境を整え、委員会活動計画をより実効性のあるものにする。 | | | | | |
| 項目(単位) | H22計画 | H22実績 | H23計画 | H24目標 | H25目標 | H26目標 |
| 農地パトロール | | | 農地相談 実施 | 全件対象 (通知) | 前年度 5%減 | 前年度 5%減 |
| | | | | | | |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|-------|-------------------|
| H25年度 | 3条申請後の農地営農確認方法の確立 |
| H26年度 | 同上 |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 8,789 | 6,774 | 6,028 |
| (内特定財源) | | 千円 | 4,276 | 2,829 | 2,660 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 2.1 | 1.8 | 1.60 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0.5 | 0.5 | 0.50 |
| | 計 | 人工 | 2.6 | 2.3 | 2.10 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|-----------------|-------|------------------|
| 農業関係証明等手数料 | 5 | 6-1-1(03)農業委員会事業 |
| 農地制度実施円滑化事業費補助金 | 847 | 6-1-1(03)農業委員会事業 |
| 農業委員会交付金 | 1,692 | 6-1-1(03)農業委員会事業 |
| 農業者年金業務委託手数料 | 114 | 6-1-1(03)農業委員会事業 |
| 図面、用紙等売払収入 | 2 | 6-1-1(03)農業委員会事業 |
| 合計 | 2,660 | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|--------------|-----|------|--------------------------------------|
| 変更 | 9(旅費) | 81 | △363 | 農業委員会視察を毎年から3年に1回(任期の初年度に実施)に変更するもの。 |
| 変更 | 14(使用料及び賃借料) | 0 | △255 | 同上 |
| | | | | |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- 1) 耕作放棄地解消のための農地相談については、農地パトロール後に予定していたが、年度末に国がパトロール方法など方針の変更が示されたので、具体的な見解が出るまでは見合せとした。
- 2) 不法転用の是正指導については、農地パトロール等により発見する度に指導を行い、農地復元及び書類申請による是正を行った。
- 3) 3条申請後の農地営農確認については、農地法の申請による現地確認をした際に営農されているか確認した。
- 4) 活動報告書の記載内容の充実(活動の充実)については、農業委員会総会を開催した際、必要に応じて報告書の記載方法等の説明を行った。

■ 評価

おおむね健全な運営がされていると評価できる。特に年度後半には、農業委員会総会の進行について、発言方法等を徹底し、議事録作成までのスピード化が図られた。

農地パトロールは耕作放棄地解消のみならず、不法転用の是正にもつながっているため、委員も含めその重要性を認識していかななくてはならない。

3条申請後の農地営農確認については、随時確認しているが、今後確認方法などを議論し、システム化を図りたい。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

| | | | |
|------------------|---|---|------------------------|
| 所属名 | 建設部建設農政課 | No. | 2 |
| 事業名 | 農業振興事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (2) | 環境と共生した産業の発展 |
| 目的 | 食糧自給率の向上を目指した農業振興と農地における町民の理解と参加及び地産地消 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興に係る事業 ・ 水稻の生産調整に関する業務 ・ 農業の担い手に対する支援 ・ 有害鳥獣の駆除 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業振興に係る事業の住民団体等への委託化 ・ 生産調整に対する補助については、国の施策の動向に注意しながら、制度の在り方について検討する。 ・ 利子補給 ・ 猟友会(資格取得者)に委託 | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 耕作放棄地対策を視野に入れた農業振興が急務なため、新たに農業に携わる人づくりを進める必要がある。 ・ 米の消費減少に伴う水稻の過剰作付による需給バランスの悪化 ・ 将来的な担い手の育成及び安定化 | | |
| 平成 24 年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たに農業に携わる人材による米粉利用をはじめとする事業化研究 ・ 町内店舗、学校給食等地産地消の推進 ・ 既存事業の見直し、PR ・ 50 周年記念事業における農業振興行事での協働 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作 業 内 容 | |
|------|--|---|
| 4 | れんげまつり | 役場東側で開催 [4/28(土)] |
| 6～12 | 古代米田植～収穫祭 | 地域団体（古代米友の会）に管理委託 |
| 8 | 枝豆狩り | 認定農業者会と共同開催 |
| 3 | 地産地消要綱の制定 | 地産地消団体の登録制度 |
| 随時 | BDF（バイオディーゼルフェル精製） 米粉啓発 生草堆肥化 農業ちやれん塾 ふれあい農園 | 食用油を燃料に精製 イベント参加、試作販売 公共施設から出る草の堆肥化及びPR 3期生（18名）、4期生（ 名）の開講 年度内に1区画開設 |

□3年間の目標

| | | | | | | |
|-----------|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目 標 | <ul style="list-style-type: none"> ・農業振興団体の育成 ・米粉利用の向上 ・学校給食を含めた地産地消の推進 | | | | | |
| 項 目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| 農業振興団体の育成 | 計画立案 | 0 | 人材発掘 | 団体活動試行 | 団体活動試行 | 団体設立 |
| 米粉利用 | 計画立案 | | 試行 | 試行、啓発 | 試行、啓発 | 業務開始 |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|--------------------------------|
| H25 年度 | 新農業振興団体活動に向けた試行、組閣及び機械、活動場所の検討 |
| H26 年度 | 新農業振興団体の設立及び米粉機械導入 |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 14,410 | 23,323 | 20,387 |
| (内特定財源) | | 千円 | 297 | 657 | 873 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 2.0 | 1.8 | 1.6 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0.0 | 0.5 | 0 |
| | 計 | 人工 | 2.0 | 2.3 | 1.6 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|-----------------|-----|------------------|
| 園芸農産振興・農産物流通対策 | 92 | 6-1-3(03) 農業振興事業 |
| 農業経営基盤強化資金利子補給金 | 12 | 6-1-3(03) 農業振興事業 |
| ふるさとづくり基金繰入金 | 570 | 6-1-3(03) 農業振興事業 |
| ふれあい農園入園料 | 158 | 6-1-3(03) 農業振興事業 |
| 農業ちやれん塾参加負担金 | 41 | 6-1-3(03) 農業振興事業 |
| 合計 | 873 | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|--------------------------|-----|--------|---|
| 廃止 | 8-6,7(農産物コンテスト報償) | 0 | △35 | 10年近くコンテストを実施し、受賞者が固定している現状から、米粉関係の普及啓発として事業を展開するため、協働委託料に計上。 |
| 廃止 | 13-1,6(水田情報システム関係委託料) | 0 | △6,172 | H23年度でシステム開発が完了することと、保守点検が水田協議会で支払いが可能となる。 |
| 変更 | 13-16,17,21(BDF,生草堆肥委託料) | 0 | 532 | 臨時職員を採用することによる賃金への切り替え。 |
| 変更 | 14-4(農機具使用料) | 60 | 60 | 緊急雇用制度を採用しないことによる農機具の使用(労働費からの組替) |

■特記事項

農業振興策の柱となるべく、米粉製粉の機械導入が農業振興育成団体の育成及び醸成とともに必要となり、その為の支援(金銭面、活動場所)を検討していかなければならない。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

- ・米粉利用をはじめとする事業化研究については、町内の若手農業者を中心としたグループによるふれあいまつりに、米粉チヂミを販売した。
- ・地産地消の推進については、町内水耕栽培団体を学校給食センターに紹介し、水菜を定期的に納入するまでに至った。
- ・既存事業の見直しについては、黒米事業、枝豆狩りに関わる住民団体に町 NPO 登録するよう働きかけたなかで、事業を進めることとした。また、ふれあい農園講習会では、今年度は休止し平成 25 年度から町内農業者による講習会とすることとした。
- ・50 周年記念事業における農業振興行事での協働については、4 月 1 日イベントで米粉チヂミの販売を行い、冠事業として実施したれんげまつりについては、50 周年コーナーを設置し、また、役場前の田んぼに「THANK 50」の花文字になるよう景観事業として菜の花の種をまいた。

■ 評価

様々な農業振興に関わる事業が展開され、その事業の改善も実施されたが、町全体における農地保全や農地の有効的な農業としての利用が明確に形になってこない状況である。

今一度、現事業を展開しつつも、改善、評価を繰り返し農業振興を推進していく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|---|-----|------------------------|
| 所属名 | 建設部建設農政課 | No. | 03 |
| 事業名 | 農地流動化事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (2) | 環境と共生した産業の発展 |
| 目的 | 農業振興地域整備計画は、優良な農地を確保・保全するとともに、農業振興のための各種施策を計画的に推進する。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none">・農地の利用集積の推進・農業振興地域整備促進協議会の開催・農業振興地域整備計画の変更等 | | |
| 現在における 経過又は課題 | 農地の荒廃化の未然防止及び担い手農家の規模拡大 農業振興地域整備計画の変更について、関係各機関と調整を図る必要がある。 | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | 景気停滞から農地の開発案件が少ない状況であるが、引き続き担い手農家の営農を妨げないように農地の保全に努める必要がある。 農業振興地域整備計画の変更については、農振庁舎内会議、農振協議会等に案を提出し進めていく。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|----|-----------------------|
| 6 | 農業振興地域整備促進協議会（臨時） |
| 12 | 農業振興地域整備促進協議会（受付案件協議） |
| 3 | 農業振興地域整備促進協議会（受付案件協議） |

□3年間の目標

| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
|----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 農業振興地域整備計画の見直し | | 基礎調査 | 策定準備 | 見直策定 | | |
| | | | | | | |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|------------|
| H25 年度 | |
| H26 年度 | |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 573 | 1,312 | 2,406 |
| (内特定財源) | | 千円 | 0 | 0 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 1.4 | 0.7 | 0.8 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 計 | 人工 | 1.4 | 0.7 | 0.8 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|-------------|----|----------|
| (農業振興事業に同じ) | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|-----------------------|-------|-----|--------------------------------------|
| 変更 | 13(農業振興地域整備計画変更関係委託料) | 1,050 | 353 | H23(基礎調査)から H24(図面、資料作成)へ作業内容が移行のため。 |
| | | | | |
| | | | | |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■ 目標又は改善策に対する取組内容

農業振興地域整備計画の変更については、ほぼ計画どおりに農振庁舎内会議、農振協議会等に案を提出し、平成 25 年 1 月に公告した。

農地の利用集積の推進については、担い手農家が減少する中、認定農業者等の打ち合わせ会を開催し、効率の良い農地の集約に努めた。

■ 評価

農業振興地域整備計画の変更については、予定どおり実施できたと評価できる。
担い手農家の減少等将来への問題を考えつつも農地の保全に努める必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|------------------|---|---|-------------------------|
| 所属名 | 建設部 建設農政課 | No. | 04 |
| 事業名 | 土地改良事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (2) | 環境と共存した産業の発展 |
| 目的 | 農業経営の合理化を図るため、用排水路の計画的な維持管理を行う。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の進んだ土地改良施設の更新を行い、農業労力の軽減、農業用車両の安全確保及び、用排水路の通水不良の改善等、農業経営の合理化を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路、河川及び橋りょう工事を含め合理的に整備ができるように計画的な改修及び修繕計画を立てる。 ・用水路のパイプライン化の調査検討 ・排水路敷きの緑化調査検討 | |
| 現在における経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が進み、要修繕箇所が増大している。営農に支障をきたす箇所においては緊急的に修繕を発注する必要があるため、計画的な維持修繕が困難な状況にある。 また、近年の財政状況により、広域的かつ段階的に整備が出来ない状況にある。 | | |
| 平成 24 年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急的な地区を選定し、計画的かつ合理的に整備していく。 ・施設台帳整備の整備 ・用排水施設の修繕計画の策定 ・区要望に対する早期回答 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---------------|--|
| 4 ～ 7 | 用排水路保守点検委託業務発注 用水管理 用排水路台帳作成委託業務発注 |
| 9 | 単独土地改良事業の認可申請 認可（予定） |
| 11 12 3 | 認可を受けた施設の改修工事の発注 完了 |

□3年間の目標

| 目標 | 平成24年度用排水路施設台帳を作成し、引き続き維持管理（回収・修繕・補修）計画を策定する。平成26年度以降は、事業計画に沿って、事業実施を行う。（達成年次未定） | | | | | |
|------------|--|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| 用排水路施設台帳整備 | | | | 作成 | | |
| 維持管理計画策定 | | | | | 策定 | 事業実施 |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|----------------|
| H25 年度 | 改修・修繕・補修計画策定 |
| H26 年度 | 維持管理計画に沿った事業実施 |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 60,553 | 32,165 | 41,362 |
| (内特定財源) | | 千円 | 4,620 | 8,700 | 9,861 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0.40 | 0.40 | 0.46 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | 0.40 | 0.40 | 0.46 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------------|-------|----------|
| 単独土地改良事業費補助金 | 9,860 | |
| 大瀬川堰維持管理負担金 | 1 | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 9,861 | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|----------------------|--------|--------|---|
| 13 | 用排水施設保守点検委託(新規) | 1,741 | 1,741 | 老朽化した用排水施設を有効的に活用し、機能確保を継続させるために点検を行う |
| 13 | 用排水路台帳作成委託料(新規) | 8,369 | 8,369 | 老朽化した用排水路の適切な維持管理(修繕・補修計画策定)のために現施設の状況把握を行う |
| 15 | 農道、農業用排水安全対策等施設整備工事費 | 24,200 | 1,100 | 県費補助額の増額(要望額)によるもの |
| 19 | 県営土地改良事業 | 593 | △1,407 | 県営水質保全対策事業の縮小によるもの |

■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)を目指し、補助金等を効果的に活用し施設の延命を図る。

単独土地改良事業縮小のため維持管理計画を策定する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

用水出水期野前に入鹿用水、木津用水井、昭和用水、郷浦排水路、岩倉用水（1号）、岩倉用水（2号）の各ゲート等の動作確認、不良箇所の点検を行った。
用排水路台帳の整備をした。

■ 評価

用排水施設台帳の整備をしたことにより、従前の台帳では管理されていない田んぼの取水（排水）位置も網羅されており、維持管理業務に寄与するものとなる。今後は、この台帳を基に、修繕・補修等の維持管理計画を策定し、効率的な予算の活用に努める必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|---|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 05 |
| 事業名 | 道路維持管理事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、道路施設の長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 舗装、道路維持修繕等工事 ・ 道路樹木の維持管理 ・ 道路台帳更新業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民団体による道路樹木の維持管理 ・ ・ | | |
| 現在における 経過又は課題 | <p>道路、道路付属施設などの公共土木施設を建設し、管理してきましたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設点検とデータ整理による状況把握と評価 ・ 求められる性能を念頭とした管理水準の設定 ・ 劣化予測による将来の状況、性能の推定 ・ 中長期管理計画の策定(予算の平準化やコストの縮減を考慮した最適な維持管理計画) | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 予算の平準化を考えた長期的な主要町道舗装修繕計画を策定する。 ・ 予算の平準化を考えた中期的な道路付属物修繕計画を策定する。 ・ 区要望に対する早期回答 ・ 舗装工事について占用工事の舗装復旧と調整を行い生活道路の快適性を向上する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|-----|--|
| 4 | 道路樹木維持管理業務の年間契約 平成 24 年度維持管理工事実施計画策定 |
| 5~8 | 主要町道舗装修繕計画（道路修繕計画）策定業務委託発注 道路台帳更新業務 道路付属物修繕計画策定業務委託の発注 |
| 随時 | 舗装、道路維持修繕等工事 |

□3 年間の目標

| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・主要町道舗装修繕計画の策定と計画実施 ・道路付属物修繕計画の策定と計画実施 | | | | | |
|------------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| 主要町道舗装修繕計画 | | | | 計画策定 | 計画実施 | 計画実施 |
| 道路付属物修繕計画 | | | | 計画策定 | 計画実施 | 計画実施 |

□2 年後、3 年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|---|
| H25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施 ・道路付属物修繕計画に基づく工事の実施 |
| H26 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・主要町道舗装修繕計画に基づく工事の実施 ・道路付属物修繕計画に基づく工事の実施 |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 114,888 | 100,441 | 150,645 |
| (内特定財源) | | 千円 | 18,135 | 15,166 | 15,330 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 2.4 | 3.26 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.0 | 1.00 |
| | 計 | 人工 | | 2.4 | 4.26 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------|--------|----------|
| 道水路占用料 | 15,330 | 道路維持管理事業 |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|-------------|-------|-------|--|
| | 消耗品費 | 409 | △554 | 道路補修をコミュニティーワークセンターに請負委託するため常温合材購入費 400 袋分を委託料に移動する。 |
| | 保守点検委託料 | 210 | 210 | 道路占用台帳管理システムの保守点検を行う。 |
| | 道路台帳更新作業委託料 | 3,528 | △735 | H23 は道路占用台帳管理システムのシステム修正が含まれていた。 |
| | 道路維持管理等委託料 | 5,814 | 4,405 | 当該業務が緊急雇用創出事業に該当しなくなるためコミュニティーワークセンターに委託する。 |
| | 道路修繕計画策定委託料 | 9,000 | 9,000 | 主要町道の長寿命化を図るため修繕計画を策定する。 |

■特記事項

舗装修繕計画を策定することにより、主要町道の長寿命化を図るとともに工事費が補助対象となる見込みである。

■目標又は改善策に対する取組内容

- ・主要町道の舗装修繕計画策定業務委託を10月発注
(委託期間:平成24年11月17日から平成25年3月26日)
- ・緊急修繕色の随時の区要望(舗装部分補修やカーブミラー等道路付属構造物)については、現場確認の上、速やかに対応
- ・舗装工事は3,118mを施工した。(うち下水道舗装復旧と同時施工で475mを施工した。)

■評価

- ・主要町道の舗装修繕計画は、年度末成果となったため、この成果を基に社会資本整備交付金(防災・安全)による舗装修繕工事は、平成26年度から開始することとなった。
- ・住民団体への委託(低木管理の他、河川の草刈を含む)については、柏森大口線で新たに1団体(悠々のたの)と委託契約を進めることができ、安全対策を充実するよう、平成25年度予算においては、契約する全団体が保険加入していただくための予算と、作業時にカラーコーンや安全ベストを町から貸与するための予算を確保することになった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|---|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 06 |
| 事業名 | 道路整備事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 道路の改良により、安全で安心な生活環境を確保する。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路用地の購入 ・ 道路拡幅、改良工事の設計 ・ 道路拡幅、改良工事の施工 | | |
| 現在における 経過又は課題 | 限られた資金の中で、交通上の安全や良好な生活環境を確保するために歩道や側溝の整備、用地の取得を行わなければならない。 | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中期的な歩道整備等道路整備計画の策定 ・ 区要望に対する早期回答 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|----|--|
| 随時 | <ul style="list-style-type: none"> ・道路用地の購入 ・道路改良工事の設計、施工(用地、用水時期等条件の整ったものから) 町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） 町道余野71号線改良工事（本年度完了） |

□3年間の目標

| | | | | | | |
|--------|--|--|------------|--------|--------|--------|
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） ・ | | | | | |
| 項目（単位） | | | | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| 大口桃花台線 | H12～ 16 | | H18～ 19 | 新規継続 | 継続 | 継続 |
| 余野71号線 | H20 実施 | | 実施 | 完了 | | |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|--|
| H25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） ・ |
| H26 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・町道大口桃花台線歩道切り下げ工事（継続工事） ・ |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 247,805 | 292,378 | 206,874 |
| (内特定財源) | | 千円 | 0 | 0 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 0.60 | 0.42 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | | 0.60 | 0.42 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------|----|----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|---------|---------|---------|----------------------------|
| | 委託料 | 10,215 | 5,914 | 道路改良(拡幅)にともなう用地測量、物件調査費の増加 |
| | 工事請負費 | 172,040 | △96,960 | 産業団地内道路改良工事が完了 |
| | 公有財産購入費 | 10,818 | 5,663 | 道路改良(拡幅)にともなう道路用地購入費の増加 |

■特記事項

| |
|--|
| |
|--|

■ 目標又は改善策に対する取組内容

町道大口桃花台線は、役場南線交差点以西がマウントアップ形式のままであるため、フラット形式としバリアフリー化を施す。平成 24 年度は、このうち、愛岐南北線から東へ 450m の区間を実施した。

大型車両通行の多い町道豊田 22 号線は平成 23 年度からの継続事業で道路敷法面の有効活用により道路有効幅を拡幅し交通の円滑化を図る。

■ 評価

町道大口桃花台線の歩道フラット形式化工事については、予定通り執行できたが、町道豊田 22 号線改良では、電柱移転工事が関係機関と調整の結果、年度末になってしまい繰越工事となってしまった。発注時期が特段遅かったわけではないが、全体的に日常作業に追われてしまい、工事発注への労力が割かれてしまう結果となった。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|---|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 07 |
| 事業名 | 橋りょう維持管理事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 橋りょうの長寿命化修繕計画の策定 ・ 橋りょうの修繕工事の設計 ・ 橋りょうの修繕工事の施工 ・ 橋りょうの維持管理 | | |
| 現在における 経過又は課題 | <p>H22 から橋りょう長寿命化修繕計画策定にむけ現状を把握するため橋りょう点検を実施している。</p> <p>現在は、架設から相当年数経過した橋りょうが多数あるが、架け替え及び修繕計画が未策定である。</p> | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | H22、23 で実施した橋りょう点検結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を策定する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---|--------------------|
| 7 | 橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託発注 |

□3年間の目標

| 目標 | ・・・ | | | | | |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| 橋梁長寿命化修繕計画 | | | | 策定 | | |
| 橋梁整備事業へ移行 | | | | → | 実施 | 実施 |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|---|
| H25 年度 | 橋梁長寿命化修繕計画にもたれて、橋梁整備事業への移行 橋梁整備工事に向けた設計の発注 |
| H26 年度 | 橋梁整備工事に向けた工事の発注・ ・ |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 0 | 6,401 | 2,348 |
| (内特定財源) | | 千円 | 0 | 3,245 | 550 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 0.40 | 0.36 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | | 0.40 | 0.36 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|-------------|-----|-----------------|
| 社会資本整備総合交付金 | 550 | 委託料(補助率 5.5/10) |
| | | |
| | | |
| 合計 | 550 | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|---------|-------|--------|---------------------------|
| | 委託料 | 1,848 | △4,053 | 計画策定は 1 橋あたりの費用が点検より安価なため |
| | | | | |
| | | | | |

■特記事項

H25 以降は橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの修繕、架け替えを実施するので大きな支出が見込まれる。(特定財源として社会資本整備総合交付金有)

■目標又は改善策に対する取組内容

平成 22 年、23 年に橋梁点検したデータを基に、37 橋（構造別で数えると 48 橋）の修繕計画を策定する。

■評価

橋梁長寿命化修繕計画を年度末にまとめたため、交付金を受けての修繕は早く平成 26 年度からになる。同計画では、機械的に予算の平準化をする手法となっていたため、同一橋梁の修繕は極力 1 力年にするよう調整をしたが、西武線の雉子野橋の様に架け替え想定がされている橋梁もあり、これら架け替えについては、県のパッケージ上、長寿命化に含んでいないため、別途架け替え計画を設定しなければならない。また、計画の予算根拠は、モデル単価であるため、実際の施工に関しては、見積を徴すもの、設計委託が必要なものがあるので橋梁毎に再精査をしていく必要がある。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|--|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 08 |
| 事業名 | 橋りょう整備事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、橋りょうの架け替え、拡幅、歩道設置等を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 橋りょうの整備工事の設計 ・ 橋りょうの整備工事の施工 ・ ・ | | |
| 現在における 経過又は課題 | 架設から相当年数経過し、老朽化した橋りょうが多数あるが、架け替えに時間、費用がかかる。 | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | 橋りょう維持管理事業で行う橋梁長寿命化修繕計画により、橋りょうの修繕、架け替えに関する年次計画を策定する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|----|---------------------------------|
| 10 | 橋梁長寿命化修繕計画により修繕、架け替え時期等、年次計画の策定 |

□3年間の目標

| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
|--------------------|--------|-----------|-----------|-----------|--------|--------|
| 橋梁長寿命化修繕計画策定 | | 点検業務 → | 点検業務 → | 計画策定 ↓ | | |
| 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備 | | | | → | 実施 | 実施 |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|---|
| H25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備の実施 橋梁改築・修繕等実施設計委託業務の発注 |
| H26 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画に基づく橋梁整備の実施 橋梁改築・修繕等整備工事の発注及び実施設計委託業務の発注 |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 76,741 | 1,390 | 0 |
| (内特定財源) | | 千円 | 0 | 0 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 0.40 | 0.00 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | | 0.40 | 0.00 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------|----|----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|---------|-----|--------|-----------------------|
| | 工事費 | 0 | △1,390 | 今年度は橋りょう整備工事の実施予定がない。 |
| | | | | |
| | | | | |

■特記事項

H25 以降は橋梁長寿命化修繕計画に基づき橋りょうの整備、架け替えを実施するので大きな支出が見込まれる。(特定財源として社会資本整備総合交付金有)

■ 目標又は改善策に対する取組内容

H24 年度は橋梁整備事業費無し

■ 評価

H24 年度は橋梁整備事業費無し

建設農政課事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|------------------|---|---|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 9 |
| 事業名 | 河川排水路維持管理事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の維持管理を行うとともに長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 側溝横断管等浚渫 ・ 住民団体への河川排水路の除草作業の委託 ・ 河川敷併用道路の草刈業務 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川排水路の維持管理工事 ・ ・ ・ | |
| 現在における経過又は課題 | <p>河川、排水路施設を建設し管理してきたが、多くの施設が近い将来、更新(つくり直す)しなければならない時期が到来することが懸念されている。</p> <p>組立水路の老朽化が進み豪雨時に破損することがある。</p> <p>道路側溝、排水路の暗渠化に伴い浚渫要望箇所が増えている。また、開水路においても多量の堆積物、雑草により流下能力が低下する施設がある。</p> | | |
| 平成 24 年度の目標又は改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良事業で実施予定の用排水路長寿命化計画の中で、予算の平準化を考えた長期的な排水路修繕計画を策定する。 ・ 区要望に対する早期回答 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---|---------------------|
| 4 | 側溝横断管浚渫工事の実施 |
| | 住民団体による河川敷道路の除草（年間） |
| 6 | 業者委託による河川敷道路の除草 |

□3年間の目標

| 目標 | ・・・ | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|------------|
| H25 年度 | ・ |
| H26 年度 | ・ |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 13,332 | 13,943 | 15,600 |
| (内特定財源) | | 千円 | 0 | 0 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 0.30 | 0.26 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | | 0.30 | 0.26 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------|----|----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|---------|--------|-------|---------------------|
| | 委託料 | 3,600 | 673 | 尾北自然歩道(通学路指定外)を新規計上 |
| | 工事請負費 | 12,000 | 1,000 | 老朽化した水路の維持工事の増加 |
| | | | | |

■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

用排水施設の経年劣化が進行してきており、適切なタイミングでの修繕や草刈浚渫等の施行に努める。

■ 評価

他事業でも触れたが、地元要望や施設管理者目線での草刈需要に応える人員と費用が不足したため、9月補正において草刈費用を当初予算近く増額することになった。平成25年度においては、産業推進室とも調整の上、直営作業で賄えるよう作業工程を計画し進めていく必要がある。

町内建設業者への委託で実施していた尾北自然歩道の草刈りについては、大口町建設協力会と大口町との間で草刈活動事業協定書を締結し年2回の草刈を行っていただけることになり、平成25年度で予算計上する額を減らすことができた。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|--|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 10 |
| 事業名 | 河川排水路整備事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、河川排水路施設の整備を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川排水路の改良工事の設計 ・ 河川排水路の改良工事の施工 ・ | | |
| 現在における 経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨時に流下能力が不足する水路があり、老朽化した組み立て水路においては破損することがある。 ・ 接続する下流河川、排水路の流下能力が不足する場合がある。 | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地改良事業で実施予定の用排水路長寿命化計画との整合を図り、長期的な排水路改修計画を策定する。 ・ 豪雨により破損した秋田三丁目地内の排水路の工事をする。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|----|-----------|
| 10 | 排水路改修工事実施 |

□3年間の目標

| 目標 | ・・・ | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|------------|
| H25 年度 | ・ |
| H26 年度 | ・ |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 6,758 | 0 | 6,100 |
| (内特定財源) | | 千円 | | 0 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 0.00 | 0.22 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.00 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | | 0.00 | 0.22 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------|----|----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|---------|-------|-------|-----------------------|
| | 工事請負費 | 6,100 | 6,100 | 秋田、外坪地内で排水路改修工事を実施する。 |
| | | | | |
| | | | | |

■特記事項

排水路の改修工事をすすめ、豪雨時における越水、破損の防止をめざす。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

現有施設の長寿命化を図るため大規模改修が必要となる前に適時小規模改修を進めていく。

■ 評価

10月に秋田地区内で水路と民地駐車場境の間知ブロック積擁壁の崩れによる排水路破壊が起きているとの地元からの報告があり、緊急的に同排水路と擁壁の改修工事を実施したため、当初想定していた水路改修を施行できなかった。今年度緊急改修対応した箇所は必要最低限の区間のため、平成25年度は直近下流区間も続けて改修をしていく必要があり予算計上するに至った。問題の箇所は、県道沿いの民家の裏側にあたり、目が届きにくい場所ではあったが、擁壁近くには古い家屋もあり、放置すれば倒壊の危険性もあった。今回は地元からの報告があり対応が可能であったが、今後は土地改良事業で作成した用排水路台帳を活用し点検をしていく必要がある。

事業別経営計画書【B】

■基礎情報

| | | | |
|--------------------------|---|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 11 |
| 事業名 | 調整池維持管理事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、調整池の長寿命化を図る。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 調整池の修繕工事の設計 ・ 調整池の修繕工事の施工 ・ 調整池の維持管理 | | |
| 現在における 経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ H23 からポンプ施設の適正な運転を維持するため定期点検を行っているが、相当年数経過している施設の維持管理費の増加が懸念されている。 ・ 調整池は接続している排水路等の流量が一定の量を超えると流入する構造となっているが、実際の豪雨時にどの程度貯留しているかは現地でないため緊急時の状況把握に時間がかかる。 | | |
| 平成 24 年度 の目標又は 改善策 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 定期点検結果に基づき適正に維持管理を行う。 ・ 水位計を設置し豪雨時の流量、貯留量をリアルタイムに把握することにより、調整池の適正な管理と治水の安全性を確保する。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|----|----------------|
| 5 | 定期点検実施 |
| 10 | 吊下げチェーン取替等修繕実施 |
| 10 | 水位計設置工事発注 |
| | 除草、清掃（適宜） |

□3年間の目標

| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 保守点検業務 | | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | 実施 |
| 水位計設置工事 | | | | 実施 | | |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|-------------------|
| H25 年度 | 保守点検維持管理を実施・ ・ |
| H26 年度 | 保守点検維持管理を実施・ ・ |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 3,165 | 3,197 | 10,721 |
| (内特定財源) | | 千円 | 1,380 | 700 | 690 |
| 人工 | 職員 | 人工 | | 0.3 | 0.26 |
| | 臨時職員 | 人工 | | 0.0 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | | 0.3 | 0.26 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------------|-----|----------|
| 奈良子川調節池管理委託金 | 690 | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|----------|-------|-------|--------------|
| | 保守点検委託料 | 237 | 79 | 1か所(余野調整池)追加 |
| | 調整池維持工事費 | 8,181 | 7,681 | 水位計取付工事の実施 |
| | | | | |

■特記事項

維持管理費の増加を抑制し、施設を長持ちさせるため、予防保全(計画的にメンテナンスを行うこと)をめざす。

水位計の設置により調整池の適正な管理と治水の安全性を確保する。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

余野 1 号調整池沿いの昭和川の暗渠化及び断面拡幅化工事（道路整備事業：余野 71 号線）に併せて、ボックス内に水位計を設置する（併せて五条川西川原橋右岸下流側にも水位計設置）。

■ 評価

県一宮建設事務所から管理委託を受託している奈良子川調節地と昭和川調節地については、住民団体による管理が実施できている。

水位計の設置についてもグループウェアのメールで 1 時間毎に水位監視報告を定期報告として、また、警戒水位（余野 1 号調整池においては調整池越流水位、五条川についてはコンクリート護岸ブロック天端水位）を超えた場合にもメール受信できるよう設定したので、平成 25 年度からは増水時の確認が速やかにでき、必要な対応に着手する時間が短縮できるようになる。

事業別経営計画書【A】

■基礎情報

| | | | |
|------------------------|---|-----|---------------------------|
| 所属名 | 建設農政課 | No. | 12 |
| 事業名 | 調整池整備事業 | | |
| 総合計画の 体系 | 大分類 | 2 | 未来へ引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する |
| | 小分類 | (3) | 自然と共生した地域社会づくり・良好な生活環境の確保 |
| 目的 | 安全で安心した生活環境を維持するため、集中豪雨等による水害を減少させるために雨水貯留施設を整備する。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 調整池整備工事計画・基本設計 ・ 調整池整備工事詳細設計 ・ 調整池整備工事 ・ | | |
| 現在における 経過又は課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 新川流域水害対策計画に基づき、5千㎡分の調整池整備が必要である。 ・ 調整池の整備には、排水系統に合致した位置にまとまった用地が必要となる。 | | |
| 平成24年度の 目標又は 改善策 | 替地三丁目地内に調整池整備に必要な計画・基本設計を行う。 | | |

■作業工程（当該年度）

| 月 | 作業内容 |
|---|-----------------|
| 5 | 調整池整備工事基本設計業務委託 |

□3年間の目標

| | | | | | | |
|----------|---|--------|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 替地三丁目地内に調整池を整備することにより、この地域の水害を防ぐ。 ・ 長期的な調整池整備計画の策定 | | | | | |
| 項目（単位） | H22 計画 | H22 実績 | H23 計画 | H24 目標 | H25 目標 | H26 目標 |
| 調整池の整備計画 | | | | 基本設計 | 詳細設計 | |
| 調整池整備工事 | | | | | | 工事実施 |

□2年後、3年後の主な計画

| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
|--------|--|
| H25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 替地三丁目地内基本設計に引き続き、調整池整備工事詳細設計の発注 ・ |
| H26 年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 替地三丁目地内詳細設計を基に調整池整備工事発注 ・ |

■事業コスト

| | | 単位 | H22 年度決算額 | H23 年度当初予算額 | H24 年度計画額 |
|---------|------|----|-----------|-------------|-----------|
| 事業費 | | 千円 | 0 | 0 | 11,214 |
| (内特定財源) | | 千円 | 0 | 0 | 0 |
| 人工 | 職員 | 人工 | 0 | 0 | 0.26 |
| | 臨時職員 | 人工 | 0 | 0 | 0.00 |
| | 計 | 人工 | 0 | 0 | 0.26 |

■平成 24 年度計画特定財源内訳

(単位：千円)

| 特定財源名称 | 金額 | 備考(充当先等) |
|--------|----|----------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| 合計 | | |

■平成 24 年度計画額の主な増減

(新たな取組、臨時経費、廃止項目等)

(単位：千円)

| 種別 | 項目(科目等) | 計画額 | 増減額 | 内容 |
|----|---------|--------|--------|----------------------|
| | 委託料 | 11,214 | 11,214 | 調整池の用地が決定したため基本設計を行う |
| | | | | |
| | | | | |

■特記事項

H25 に詳細設計の費用、H26 に工事費として多額の予算が必要となるが、基金の利用と特定財源として社会資本整備総合交付金(補助率 1/3)を受ける。

■ 目標又は改善策に対する取組内容

平成 24 年度の基本設計では、調整池設置箇所となる替地地内の公園用地の規模と矢戸川流域での要対策量を考慮しつつ計画容量を算定することと想定する工法から、平成 25 年度の詳細設計予算の確保と H26, 27 年度の予定工事額を算出する。

■ 評価

当初、検討に入れていた仮設工無しの開削工法では、わずかな容量しか確保できないことが判明したため、替地調整池を計画する区域の必要対策量と周辺の冠水状況の緩和を考慮にいれ貯水量を 500m³ と決定したが、それでも掘削深が 5 m を超えるため仮設費が大きくなる見込みで容量当たりの単価が余野調整池よりかなり高くなっている。また、調整池の機能を果たすためには前面町道に埋設されている既存の排水管では容量不足であることから、既設排水管のバイパス計画を立てているが、側溝等既存構造物の改修を含む計画であることや、周辺には 13 件の住宅開発が平成 25 年中に予定されていることもあり、既存排水管を利用した暫定運用を検討せざるをえない。

また、平成 25 年度の詳細設計においては、上地計画である公園の計画や既存のプレハブ小屋の処理、ゴミ集積場の移転願い等、関係各課及び地元との調整すべき事項を多く抱えており、適時会議を設け進めていく必要がある。